



アンダーパスの

冠水

にご注意ください

くわしくは 維持管理課 維持係 ☎(21)5160

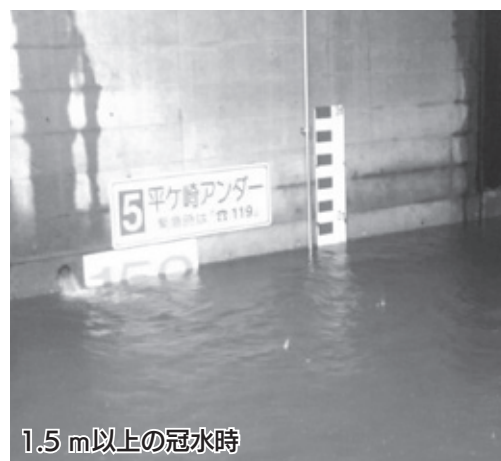
短時間に大量の雨が降ったり、雨が続きたりすると、周りから水が流れ込んで道路が水没する「冠水」が発生することがあります。市内には、国道や県道、市道が鉄道や有料道路などとアンダー形式で立体交差する場所のうち、冠水に注意の必要な場所が15カ所あります。

雨の日にアンダーパスを車で通る場合は、道路の状況に十分注意し、徐行を心掛けて通行してください。

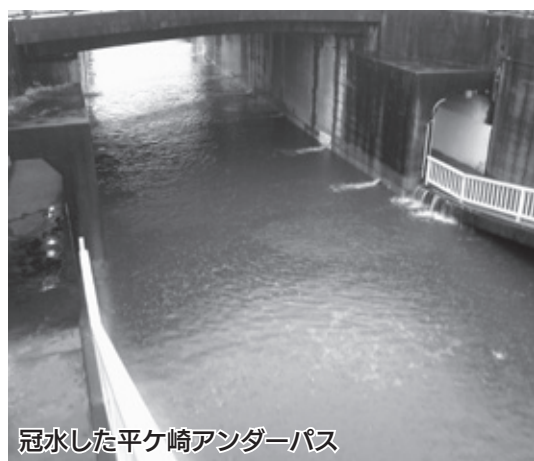
※注意点

- ・車はマフラーから水が入るとエンジンが止まってしまいます。冠水が浅く見えても油断はできません。
- ・冠水に気付いて停車した場合は、追突されないようにハザードランプを点灯してください。

なお、この15カ所については市や県、警察署、消防署などで情報を共有し、降雨時には重点的にパトロールを実施していますが、緊急の場合には通報などのご協力をお願いします。



1.5 m以上の冠水時



冠水した平ヶ崎アンダーパス

表：冠水に注意が必要な市内アンダーパス

アンダーパス名	アンダーパスの場所
あかがねこうしん 銅庚申アンダー	県道庚申山公園線入口 わたらせ渓谷鐵道ガード下(国道122号線)
宝殿アンダー	東和町交差点東 JR日光線ガード下(国道119号線)
しどぶち 志渡淵アンダー	宝殿交差点日光IC側 JR日光線ガード下(市道日14056号線)
七里アンダー	宝殿交差点大谷川側 東武日光線ガード下(市道日34217号線)
平ヶ崎アンダー	春日町交差点南 JR日光線ガード下(国道121号線)
瀬川アンダー	春日町交差点北 東武日光線ガード下(国道121号線)
豊田アンダー	豊田公民館北 東武日光線ガード下(市道今35081号線)
朝日町アンダー	如来寺北 東武鬼怒川線ガード下(市道今33102号線)
千本木アンダー	JR今市駅東ガード下(市道今33443号線)
本町アンダー	日光市役所東 東武日光線ガード下(市道今1008号線)
八日市西アンダー	八日市公民館北 日光道ガード下(市道今36124号線)
八日市東アンダー	日光道大沢IC北ガード下(市道56019号線)
大沢アンダー	日光道大沢IC西ガード下(県道下野大沢停車場線)
木和田島アンダー	日光道大沢IC東ガード下(市道今46021号線)
明神アンダー	星宮神社北 東武日光線ガード下(市道今2040号線)

○国道・県道については

◆日光警察署管内

県日光土木事務所

保全部保全第一課 ☎(53)1213

◆今市警察署管内

県日光土木事務所

保全部保全第一課 ☎(53)1221

○市道については

◆今市警察署管内

維持管理課 ☎(21)5160

◆日光警察署管内

⑨産業建設係 ☎(54)1114



※市ホームページに市内のアンダーパスの位置図が掲載されています。

公共施設マネジメントで 取り組んでいきます

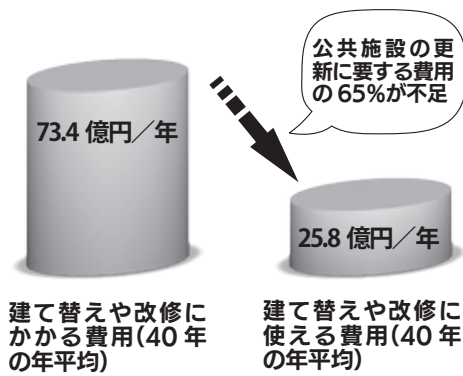
くわしくは 管財課 公共施設マネジメント推進室 ☎(21)5132

市は、社会環境の変化など、時代のニーズに合わせて数多くの公共施設を整備してきました。

現在、市内には教育施設や市営住宅など600以上の施設があり、その多くは経年による施設の老朽化や設備、機能の低下など、今後、本格的な大規模改修や建て替えが集中する時期を迎えます。

今ある全ての施設の改修や建て替えを行う場合、年平均73.4億円が必要になります。人口減少や少子高齢化による税収の減少など厳しい財政状況の中で、使える金額は年平均

図1：公共施設の更新にかかる費用



均25・8億円程度しか見込めません(図1参照)。借金をして全ての施設を現在の姿のまま維持するとすると、子どもや孫の世代に大きな負担を残すこととなります。

そこで市は、施設量を40年間で32%削減総延床面積を平成25年度時点の53・6万㎡から36・5万㎡へ縮小(を目標にした「公共施設マネジメント計画」を策定し、施設の有効活用と改善に向けて取り組んでいます。

どんな取り組みをしているの？

市が保有する公共施設を将来の人口や財政状況に合った規模にするために、全体的視点で考え、やりくりをすることが大切です。

実際に取り組んでいるものをいくつか紹介します。

■集約・複合化

1つの建物に複数の機能を集約します(公民館+図書館、小学校+中学校など)。

これまでの機能に他の機能を足すことで、サービスの向上や施設総量

の削減につながります。

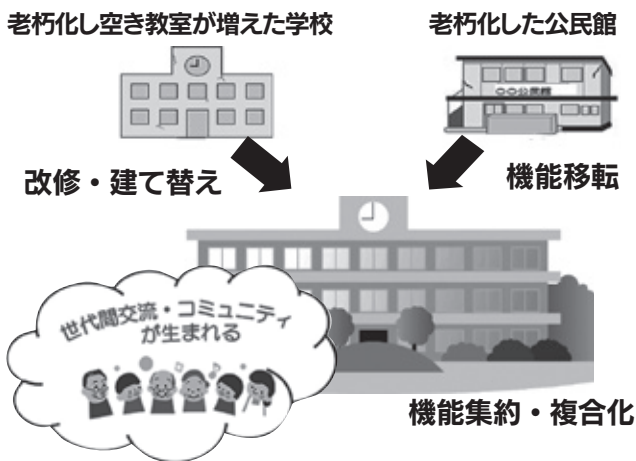
事例1…現在、建て替え中の庁舎もさまざまなサービスを1つの建物に集めることで、利便性を高め、防災拠点機能の向上や地域振興などの効果を目指します。

○日光庁舎(行政センター、公民館、図書館)

○藤原庁舎(行政センター、公民館)

○栗山庁舎(行政センター、保健センター、公民館、保育園)

事例2…藤原地域内の保育園も機能を集約し、さらに民営化することで地域のニーズに合わせた子育て機能の充実を図ります。



○藤原保育園、鬼怒川保育園、鬼怒川児童館を統合した保育園を新たに整備

○下原保育園、高德保育園を統合した保育園を新たに整備

■長寿命化

施設が痛んだり壊れる前に、定期点検や計画的な改修を行うことで建物を長持ちさせることができます。同じ施設を長く使うことで、施設全体にかかる費用の平準化やコストの削減につながります。

一緒に考えてみよう

公共施設の適正化を実現していくためには、市民の皆さんと情報を共有しながら一緒に考えることが重要です。マネジメントが進むと、身近な施設がなくなったり、不便になるなど、マイナスイメージを持たれるかもしれません。しかし、新たな「コミュニティ」が生まれたり、機能が充実するなど、プラスになることもありま

す。まずは、今までと違う見方で公共施設について考えてみませんか。

市は、7月21日(金)に「公共施設マネジメントセミナー」を開催します。公共施設マネジメントの取り組みについて理解を深めてもらうため、市民の皆さんの参加をお待ちしています(詳しくは「情報ナビ30ページ」をご覧ください)。

公共施設マネジメントとは…地方自治体が保有する公共施設を自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画、管理および利活用する仕組み